

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業				事業番号	017-057
担当部署名	建築都市局	局	都市整備部	部	都心未来創造課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
			有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携				
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）				
			有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)		目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3	
			有	取組	堺市都市計画マスタープランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）/堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「堺臨海部再生・創造ビジョン」					
3	事業開始年度			平成 23 年度		終了（予定）年度		令和 12 年度	
4	実施根拠			港湾法、海岸法、都市計画法					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	対象者：臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺駅・堺旧港エリア				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	堺都心未来創造ビジョン等に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）の推進に向け、堺駅・堺旧港や堺浜の活性化、魅力創出に向けた取組を進め、立地特性を活かした賑わい・憩い・魅力ある海辺空間、交流拠点の形成を図る。					
8	事業内容	<堺旧港の活性化等> ・堺旧港の水辺の魅力を活かした交流空間の形成に向け、親水護岸及びその他後背地との一体的な利活用による交流機能の導入を行う。 ・堺旧港親水護岸をレクリエーションの場として開放したイベント「乙姫の休日。」等を実施する。 ・堺旧港へのアクセスルートにおける歩行者空間の改善を行う。 <堺駅周辺整備に向けた方針の検討> 堺駅周辺が関西国際空港・国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心となり、国内外から人々が集うエリアとなることをめざし、駅周辺の活性化と魅力向上に資する機能に関する検討を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	委託業者等					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 終了（予定）年度
	都心エリアの歩行者通行量	人/日		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	—	—	65,280	68,400
			実績値	—	64,500		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		歩行者通行量は賑わいや交流が創出されている状況を示す指標であり、訪れる・働く・住む人など多様な目的の人が集い・交流する魅力的なエリア形成の進捗を評価できるため					
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年度の水準					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	「乙姫の休日。」の来場者数	人/日		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	1,630	3,160	1,630	
			実績値	3,156	1,622		
			達成率	194%	51%		
当該指標を選定した理由		堺旧港の活性化が目的達成に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		「乙姫の休日。」の来場者数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	臨海部活性化推進事業	事業番号	017-057
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,819	15,021	55,441	35,915	40,387
	財源内					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（貸付収入）	0	0	765	0	3,062
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	9,819	15,021	54,676	35,915	37,325
14	人件費（b）	21,060	17,760	23,520	23,520	26,970
15	年間経費（c）=(a)+(b)	30,879	32,781	78,961	59,435	67,357

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	堺旧港エリア活性化推進業務	R7	決算	15,370	15,370	旅費	R7	決算	50	50
		R8	予算	13,498	10,436		R8	予算	67	67
	堺旧港アクセス改善	R7	決算	1,858	1,858	消耗品費	R7	決算	10	10
		R8	予算	2,700	2,700		R8	予算	132	132
	堺旧港交流空間創出事業負担金	R7	決算	3,583	3,583	保険料	R7	決算	70	70
		R8	予算	13,929	13,929		R8	予算	30	30
	海上交通関連負担金	R7	決算	14,974	14,974	堺駅周辺整備に向けた方針検討業務	R7	決算	0	0
		R8	予算	0	0		R8	予算	10,000	10,000
	謝礼金	R7	決算	0	0		R7	決算		
		R8	予算	31	31		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 「乙姫の休日。」の来場者数	人/日	3,156	1,622
	② 上記①にかかる年間経費	千円	14,289	13,762
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,528	8,485
	算出についての説明等		当事業にかかる事業費や人件費により算出	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・大阪広域ベイエリアまちづくりにおける堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）に基づき、堺旧港親水性護岸とその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入等に向け、プロポーザル方式による事業者公募を行ったほか、エリアの可能性等の見える化や民間、地域、将来のエリアマネジメント促進に向けた機運醸成を図るための社会実験を実施する等大阪広域ベイエリアの活性化に向けた取組を行った。 ・大阪・関西万博の来場手法の一つである海上交通について、広報活動や事業者の仮設棧橋設置を支援するなど円滑な運営に寄与した結果、多くの方に利用いただき堺旧港の認知度向上を図ることができた。 ・「乙姫の休日。」開催日の4日中3日間で天候が悪かったことから、過年度に比べ来場者数が少なく単位当たりの経費が増加する結果となった。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・「堺市基本計画2025」等に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアの活性化、堺旧港の海辺の特性を活かした居心地の良い交流空間の形成に向け、護岸後背地への交流機能導入等を実施する事業者公募を行い、また大阪府による舟運社会実験と連携しながら、海辺の交流空間創出の社会実験を実施し当エリアの魅力の見える化や発信を行った。 ・海辺の交流空間創出社会実験の来場者に加え、令和7年3月に完成した宿泊施設利用者、大阪・関西万博の海上交通利用者に対しても堺旧港の魅力発信を行った。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	民間事業者の宿泊施設や商業施設の誘導や「乙姫の休日。」の継続的な実施により、堺旧港の認知度向上及び都市魅力の向上が図られていると考えられる。
	有効性	■ 高い □ 低い	